

2026 年 9 月 28 日

Press Release

アカマイ・テクノロジーズ合同会社

Akamai と MuleSoft、リアルタイム API 防御と AI ポリシー管理を統合し、 Agent Fabric 全体にガバナンスを拡張

※本リリースは 2026 年 9 月 10 日(現地時間) 米国マサチューセッツ州ケンブリッジで発表されたプレスリリースの抄訳版です。

- 双方向統合の拡張により、Akamai API Security のインテリジェンスと Agent Fabric を接続し、API、AI エージェント、MCP サーバー全体にわたるガバナンスを拡張
- 分散環境全体における、API や MCP サーバーの探索、把握、およびガバナンス運用を支援
- すでに 20 社以上の共同顧客が本連携を活用し、企業の API 環境全体における重大なセキュリティの死角を排除

監視されていない API やシャドーAI の利用によって企業データが危険に晒される重大なセキュリティ上の死角が生じ続けていることを受け、[Akamai](#) (NASDAQ: AKAM) はこれらのリスク解消を支援すべく、[MuleSoft](#) との技術提携を拡大したことを発表しました。[2026 年の Akamai API セキュリティの影響に関する調査](#)によると、2025 年には 87%の組織が API 関連のセキュリティインシデントを経験しています。

企業が Agentforce をはじめとする AI エージェントを大規模に導入する中、Agent Fabric は、エージェント型ワークフローを支える AI エージェント、API、MCP サーバーを統制します。この統合により、Akamai のランタイム・セキュリティ・インテリジェンスを活用したガバナンスが拡張され、セキュリティ監視と運用統制の間のギャップが解消されます。

この統合により、2 つのプラットフォーム間で双方向のデータ同期レイヤーが構築されます。MuleSoft Exchange は、API 仕様と環境データを Akamai と自動的に同期します。チームは、設計仕様と実際のトラフィックを照合し、ドキュメント化されていないエンドポイントや廃止されたエンドポイントを含む、設計と実環境の乖離 (Drift) を即座に特定することができます。

同時に、Akamai は接続されたトラフィックソースや環境からの API アクティビティを継続的に分析し、その行動分析データや脅威リスクスコアを MuleSoft の統合コントロールプレーンに提供します。Akamai は、通常であれば把握できないような API トラフィックを可視化し、組織に API 資産全体のより広範な可視性を提供すると同時に、単一時点でのみ評価するような従来の API セキュリティツールでは到達できない、シャドーAPI や MCP サーバーの死角を効果的に排除します。

Agent Fabric は、API、MCP サーバー、AI エージェント、および AI とのインタラクションに関する管理、ガバナンス、ポリシーのフレームワークを提供します。Akamai [API Security](#) は、広範な API 環境全体において、専



用の探索、ポスチャ評価、ランタイム分析、およびテスト機能を提供します。チームはこれらの統合された機能を活用することで、何が存在し、何が統制されており、どこでセキュリティ対策が必要であるかを、よりの確に把握できます。

Akamai の API Security Product & Engineering 担当 Vice President である Oz Golan は、「セキュリティチームは、存在が把握できない API や、コンテキストを理解できない API を保護することはできません。MuleSoft との連携により、両社の共同顧客は API 管理のコンテキストと API セキュリティのインサイトを結び付けることができ、保護されていない可能性のある API を特定し、インベントリの精度を向上させ、今日のアプリケーションを支える API および MCP サーバー全体のリスクを低減できるようになります」と述べています。

MuleSoft の Product Management 担当 VP の Karl Albertsen 氏は、「API は現代の企業をつなぐ架け橋であり、組織が AI を活用したアプリケーションやエージェント型のアプリケーションを構築が進む中、その重要性はさらに高まっています。Akamai API Security と MuleSoft プラットフォームを統合することにより、当社は、お客様のデジタルビジネスを支える API、エージェント、MCP 資産全体で、可視性を向上させ、ガバナンスを強化し、一貫したポリシーを適用できるよう支援します」と述べています。

提供状況

Akamai API Security と Agent Fabric 間の技術統合は現在提供中で、すでに 20 以上の組織で導入・運用されています。Akamai は、ネイティブな MuleSoft オンボーディング機能や、AI および MCP 環境向けのランタイムセキュリティの強化を含め、2026 年後半に、追加の製品アップデートを提供する予定です。

Akamai API Security と MuleSoft の連携に関する製品デモ等につきましては、[お問い合わせフォーム](#)よりご連絡下さい。

MuleSoft について

Salesforce 傘下である MuleSoft は、組織がオンプレミスとクラウド環境全体でデータ、アプリケーション、デバイスを接続できるよう支援する、エンタープライズグレードの統合および API プラットフォームを提供しています。MuleSoft は、「Agent Fabric」を通じて、統合、API 管理、エージェント/AI ガバナンスを一元化し、企業が連携された体験を迅速に構築・統制できるようにすることで、セキュアなエージェント型エンタープライズ環境の実現を可能にします。

Akamai について

Akamai は、オンラインビジネスの力となり、守るサイバーセキュリティおよびクラウドコンピューティング企業です。当社の市場をリードするセキュリティソリューション、優れた脅威インテリジェンス、グローバル運用チームによって、あらゆる場所でエンタープライズデータとアプリケーションを保護する多層防御を利用いただけます。Akamai のフルスタック・クラウド・コンピューティング・ソリューションは、世界で最も分散化されたプラットフォームで高いパフォーマンスとコストを実現しています。多くのグローバル企業が、ビジネスの成長に必要な業界最高レベルの信頼性、拡張性、専門知識を提供できる Akamai に信頼を寄せています。詳細については、akamai.com および akamai.com/blog をご覧いただくか、[X](#) や [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。



Akamai では、AI・クラウド・セキュリティの最新トピックや最新情報を 3 分で解説するポッドキャスト「Akamai Tech Insight」を配信しています。ぜひあわせてお聴きください。

URL : <https://x.gd/G0bb1m>

※Akamai と Akamai ロゴは、Akamai Technologies Inc.の商標または登録商標です

※その他、記載されている会社名ならびに組織名、ロゴ、サービス名は、各社の商標または登録商標です

※本プレスリリースの内容は、個別の事例に基づくものであり、個々の状況により変動するものです